

学力向上のための取組

〔学力向上のための取組について〕

〈保護者各位〉

学力向上のための取組として、指導方法工夫改善があります。

指導方法工夫改善とは、「少人数指導」や「T T（ティームティーチング）」など、個に応じた指導に重点をおき、児童のつまずきや困り感に対応するためのきめ細かい指導を行うことを言います。

本校では、「T T（ティームティーチング）」に力を入れており、4・5・6年生の算数で行っています。

T Tを行う時には、教室に2名の教員がいます。

一人は「T 1」として授業を行い、もう一人は「T 2」として、困り感のある児童に寄り添い、個別指導を行います。

複数の目で児童を見るので、児童のつまずきや困り感により早く気づき、より早い対応をすることができます。

困ったままで多くの時間を過ごす児童がいなくなり、学ぶ意欲の向上につながります。

T Tによる指導は、児童に寄り添うきめ細かい指導として大きな成果を上げてきました。

今後も、児童の学力向上へつながられるよう、指導方法の工夫・改善を続けてまいります。



©座間市